

平成 19 年 10 月 2 日

東レ株式会社
東レエンジニアリング株式会社

インド SRF 社と産業用ポリエステル長繊維製造プラントの技術輸出契約を締結

東レ株式会社（本社：東京都中央区、社長：榊原定征、以下「東レ」）と東レエンジニアリング株式会社（本社：東京都中央区、社長：中村時夫、以下「TEK」）は、このたび、インドの SRF Limited（本社：ニューデリー、会長：Arun Bharat Ram、以下「SRF 社」）との間で、タイヤコードやコンベアベルトなどの産業用ポリエステル長繊維製造プラントの技術輸出契約を締結しました。プラントの生産能力は年産 15,000 トンで、2009 年春の稼働を予定しています。

なお、インドにおける産業用ポリエステル長繊維製造プラントの本格的な技術導入は、本ケースが初めてとなります。

インドにおいては、これまで主にトラックやバスなど大型車両向けにナイロンタイヤコードが多く用いられてきましたが、急速な経済発展とインフラ整備に伴う一般乗用車の増加により、乗用車に用いられるポリエステルタイヤコードの需要が拡大しています。併せて 10%近い経済成長率をベースに各種産業の発達に伴い産業用途、中でもコンベアベルトの需要も拡大しています。

SRF 社は、インド最大のナイロンタイヤコードメーカーとして市場を牽引してきましたが、こうしたポリエステルタイヤコード及びコンベアベルトの国内需要の拡大に対応するため、今回産業用ポリエステル長繊維製造プラントの技術導入に至ったものです。

東レグループは、産業用ポリエステルおよびナイロン長繊維の製造プラントの技術輸出に関して、1983 年の南アフリカ SANS 社向けを始めとし、全世界を対象に実施してまいりました。当グループ工場で実際に生産実績のある製造プラントを輸出する事に加え、建設指導や技術者へのトレーニングの提供などにより、プラント引き渡し直後から保証値を満足する生産が可能である点が評価され、現在までに 5 ヶ国 8 社の実績を挙げています。

インドでは、1989 年に CEAT 社に対し産業用ナイロン長繊維製造プラントの技術輸出を行ないました。その後 1995 年に SRF 社が同社を買収し、技術輸出契約は現在まで SRF 社が引き継いでいます。東レと SRF 社は、今回の産業用ポリエステル長繊維製造プラントの新たな技術輸出を通じて両社の友好関係を一層深め、インドにおける多面的な技術協力を推進してまいります。

【SRF 社との技術輸出契約の概要】

1. 契約先 : SRF Limited (インド)
2. 契約対象 : 産業用ポリエステル長繊維製造プラント一式
(機器、エンジニアリング、ノウハウ提供、建設指導、および技術者トレーニングを含む)
3. プラント生産能力 : 年産 15,000 トン
4. 契約発効日 : 2007 年 9 月 10 日
5. 引渡完了 : 2009 年春 (予定)

< 本リリースに関するお問い合わせ先 >

東レ(株) 広報室 TEL : [東京] 03-3245-5179 [大阪] 06-7688-3085

東レエンジニアリング(株) 広報宣伝課 TEL : 03-3241-1546

< 参考資料：会社概要 >

SRF Limited

1. 設 立 : 1970 年
2. 所 在 地 : インド・ニューデリー
3. 代 表 者 : 会長 Arun Bharat Ram
4. 売 上 高 : 2006 年度実績 180 億 2,400 万ルピー (約 541 億円)
5. 純 利 益 : 2006 年度実績 28 億 9,100 万ルピー (約 87 億円)
6. 事 業 内 容 : 冷却ガス、ポリエステル繊維、ナイロン繊維の製造および販売。
インド最大のナイロンタイヤコードメーカー (世界第 7 位) であり、産業用ナイロンと冷却ガスの分野におけるマーケットリーダーとしての地位を確立している。

東レ株式会社

1. 設 立 : 1926 年
2. 所 在 地 : 東京都中央区
3. 代 表 者 : 代表取締役社長 榊原 定征
4. 事 業 内 容 : 合成繊維、プラスチック・ケミカル、情報通信材料・機器、炭素繊維複合材料、環境・エンジニアリング、ライフサイエンスその他製品の製造および販売

東レエンジニアリング株式会社

1. 設 立 : 1960 年
2. 所 在 地 : 東京都中央区
3. 代 表 者 : 代表取締役社長 中村 時夫
4. 事 業 内 容 : プラント・設備・機器に関する総合エンジニアリング、製作・施工、コンサルティングおよびメンテナンス

以 上